

過去の出題傾向について確認しておこう！

## 九大入試研究[生物]

### ▶ 出題一覧表

過去 10 年分の九州大学の入学試験(生物)で出題された分野を、次の表にまとめた。

	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]
2016	シグナル伝達 遺伝子の発現 調節と突然変異	初期発生 減数分裂 細胞分化と誘導 物質	興奮の伝導と表 面電位	花芽形成とフロ リゲン, 春化 ABC モデルと ホメオティック 遺伝子	生命表 生存曲線 個体群密度	—
2015	オペロン説 酵素と基質との 親和性	細胞接着分子	MHC と自己・ 非自己の認識	レタスの光発芽 と温度 ギャップと光	集団遺伝 中立説	—
2014	細胞の大きさ 情報伝達物質と 分子数	調節卵とモザイ ク卵	フィトクロムの 光受容と信号伝 達	錐体細胞と光波 長	浸透圧 膜タンパク質に よる物質輸送	動物の分類と系 統 適応放散と進化
2013	免疫 ハイブリドーマ	生命の起源	個体群 自然選択	フィトクロム 光形態形成	遺伝子診断	酵素, タンパク質
2012	性染色体, 性決定	ホルモン, 血糖量	視覚	光合成と気孔開 度	DNA の複製	個体群密度の推 定
2011	植物の水移動	遅滞遺伝	遺伝子組換え実 験	種間関係, 成長曲線	生態系の物質循 環	腎臓, 排出の計 算
2010	ホルモン分泌	植物ホルモン	転写・翻訳のし くみ	免疫, 血液凝固	光合成, 物質生産	—
2009	細胞小器官	一遺伝子一酵素 説	DNA の複製	興奮の伝達	中胚葉誘導	—
2008	酵素, タンパク質	抗体の構造と性 質	運動神経の発生	フロリゲンの移 動	時計遺伝子の遺 伝	種間関係
2007	消化酵素, 血液循環	卵形成, キメラ	転写・翻訳のし くみ	興奮の伝導	呼吸, 光合成	—

### ▶ 分析と対策

- 大問が5題の年, 6題の年があり, 予測が困難である。なお, 5題の場合, 難化を覚悟しなければならない。
- 「神経」や「遺伝子」が頻出である。
- 植物関連の問題も出題頻度が高い。

知識問題は教科書レベルが大半であるが, 発展的な知識を要求される場合もある。まずは教科書をベースにしっかりと知識を押さえ, 図説などで発展的な内容にまで知識を広げておきたい。また, 論述は50字程度の短めのものが多い年, 100字以上の長めのものが多い年など予測が難しいので, どちらが出題されてもいように, しっかりと訓練しておきたい。大問が5題で難問が出てもいいように, 難しめの問題にも対策をしておこう。